

エコアクション21

# 環境経営レポート



レポート対象期間 2019年6月1日～2020年5月31日

発行日 2020年7月20日



協同建材株式会社

## 目 次

1. 組織の概要
2. 実施体制
3. 環境経営方針
4. 環境負荷の実績
5. 環境経営目標
6. 環境経営計画
7. 環境経営目標の実績
8. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
10. 代表者による評価と見直し

## 1. 組織の概要

### 1. 事業所名

協同建材株式会社

### 2. 代表者名

代表取締役 山下晴久

### 3. 所在地

本社 〒432-8051 静岡県浜松市南区若林町2582番地

TEL 053-454-5461

FAX 053-454-6814

分室 静岡県浜松市南区若林町2553番地1

A L C置場 静岡県浜松市南区若林町2583番地2

丸塚分室 〒435-0046 静岡県浜松市東区丸塚町51番地の3

TEL 053-464-7333

FAX 053-465-5591

### 4. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 石橋正啓

事務局担当者 藤井理奈子

連絡先 TEL 053-454-5461

E-mail: info@kyoudou-kenzai.co.jp

### 5. 事業活動の内容

建材販売及び建築専門工事業 許可番号 静岡県知事許可(般-29)第3723号

「建築工事業、左官工事業、屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、鋼構造物工事業、板金工事業、塗装工事業、防水工事業、内装仕上工事業」

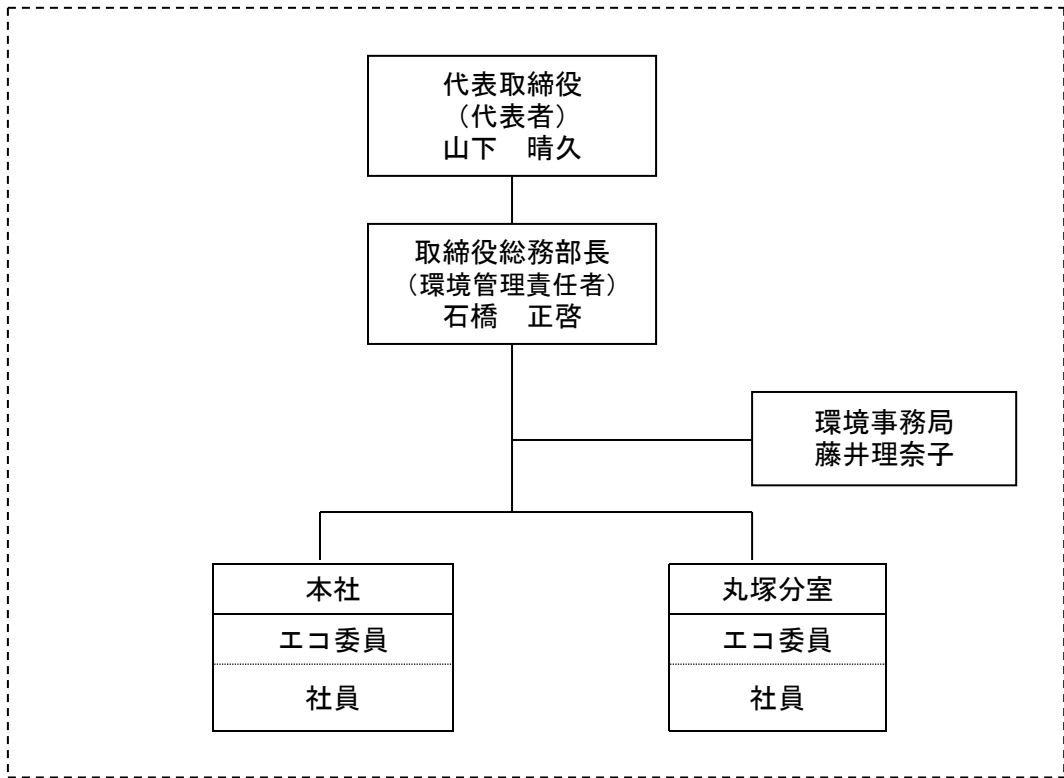
### 6. 事業の規模

活動規模	単位	2017年(72期)	2018年(73期)	2019年(74期)
売上高	百万円	2,040	2,001	2,275
従業員数	人	31	31	30
延べ床面積	m <sup>2</sup>	2,450.80	2,450.80	2,450.80

### 7. 対象範囲(認証・登録範囲)

組織・活動：全組織・全事業活動

## 2. 実施体制



担当	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代表責任者</li> <li>・ 環境管理責任者の任命</li> <li>・ 環境経営方針の制定、改定及び全社員への周知</li> <li>・ 資源（人材・設備・費用）の用意</li> <li>・ 取組全体の評価と見直し</li> <li>・ 環境マネジメントシステムの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境マネジメントシステム全体の実務上の権限</li> <li>・ 代表者への報告</li> <li>・ 環境マネジメントシステムの構築、実施及び運用管理</li> <li>・ 環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境経営目標及び環境経営計画案の作成</li> <li>・ 環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェック</li> <li>・ 環境負荷、取組の自己チェックの実施</li> <li>・ 環境経営レポートの作成</li> </ul>
EA21 担当者（エコ委員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各部門における環境マネジメントの実施</li> <li>・ 各記録の実施</li> <li>・ 問題点のチェック及び予防処置の実施</li> <li>・ 教育訓練の実施</li> </ul>
全社員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境経営方針の確認・理解</li> <li>・ 自主的・積極的な環境活動への取組み</li> </ul>

## 協同建材株式会社 環境経営方針

### 【基本理念】

協同建材株式会社は、建材販売及び建築専門工事業を通じて、地球環境との調和・共生を目指し、常に環境保全を意識した経営に努め、資源循環型社会の構築に貢献します。

### 【行動指針】

当社は基本理念に基づいた環境経営システムを構築し、環境負荷を軽減し環境に配慮した活動に取り組めます。そのために以下を実行することにより、継続的な改善に努めます。

1. 環境に配慮した建材の取扱い拡大に取り組めます
2. 電力使用量、車輛等の燃料使用量を削減し、二酸化炭素排出量の削減に努めます
3. 水使用量の削減に努めます
4. 一般廃棄物及び産業廃棄物の削減とリサイクルの促進に努めます
5. 現場での化学物質排出量削減のために配慮します

環境関連の法律を遵守し、環境経営レポートを社内外に公表するとともに、環境経営方針を全社員に周知し、全社員参画による取り組みを目指します。

協同建材株式会社  
代表取締役 山下晴久

制定：2011年11月1日

改定：2019年6月1日

#### 4. 環境負荷の実績

項目	単位	2016年度 (71期)	2017年度 (72期)	2018年度 (73期)
二酸化炭素排出量	kg-CO2	149,637	147,673	150,394
購入電力	KWh	55,934	53,769	49,497
灯油使用量	ℓ	0	53	0
都市ガス使用量	ℓ	73	82	79
ガソリン使用量	ℓ	51,559	51,758	53,814
軽油使用量	ℓ	1,260	660	703
総排水量	m <sup>3</sup>	399	403	413
一般廃棄物排出量	t	4.92	4.55	4.17
産業廃棄物排出量	t	169.81	187.47	307.75
化学物質使用量	kg	519	1,504	643

#### 5. 環境経営目標

項目	単位	基準年度 (73期)	2019年度 (74期)	2020年度 (75期)	2021年度 (76期)	
環境配慮型建材の使用・販売取扱い拡大	建材使用	枚・袋	10,076	10,177 基準年+1%	10,278 基準年+2%	10,378 基準年+3%
	建材販売	枚・袋	4,385	4,429 基準年+1%	4,473 基準年+2%	4,517 基準年+3%
	環境負荷低減設備工事	件	6件	6件	6件	6件
二酸化炭素排出量	kg-CO2	150,394	148,890 基準年-1%	148,890 基準年-1%	148,890 基準年-1%	
購入電力	KWh	49,497	49,000 基準年-1%	49,000 基準年-1%	49,000 基準年-1%	
	ガソリン使用量	ℓ	53,814	53,276 基準年-1%	53,276 基準年-1%	53,276 基準年-1%
	軽油使用量	ℓ	703	696 基準年-1%	696 基準年-1%	696 基準年-1%
総排水量	m <sup>3</sup>	413	409 基準年-1%	409 基準年-1%	409 基準年-1%	
一般廃棄物排出量	t	4.17	4.13 基準年-1%	4.13 基準年-1%	4.13 基準年-1%	
産業廃棄物排出量	t	307.75	298.52 基準年-3%	295.44 基準年-4%	292.36 基準年-5%	
化学物質使用量	kg	643	適正管理	適正管理	適正管理	

6月～5月を一年度とする。

購入電力の排出係数は、0.474 kg-CO<sub>2</sub>/kWhである。

化学物質使用量の数値目標は困難なため、適正管理(適正使用と使用量の把握)とする

## 6. 環境経営計画

項目	取組事項	取組内容	担当者					
環境配慮型建材の使用・販売	環境に配慮した建材の使用・販売推進、環境負荷低減設備工事の取扱い増加	①環境配慮型建材の使用推進（工事部門）	営業部 担当者					
		②環境配慮型建材の販売推進（販売部門）						
		③環境負荷低減設備工事の取扱い増加（屋上緑化防水工事、耐火遮音間仕切り工事、遮熱塗装工事、遮熱防水工事等）						
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	①エアコン設定温度のルール化 ・設定温度 夏期27℃ 冬期22℃ ・操作盤にシールを貼って徹底する ・フィルターを定期的に清掃する	藤井理奈子 鈴木智美					
		②不要な照明の消灯（事務所、階段、トイレ等） ・不在時、昼休時、残業時は必要最小限の照明にする ・社内掲示を行い、消灯を徹底する						
		③パソコン不使用時の電源OFF						
		使用燃量の削減		①全車両エコドライブの周知、徹底 ・不必要なアイドリングの禁止 ・車内の整理整頓（不要な荷物を降ろす） ・急発進・急加速の禁止 ・効率的な運行計画 ・エアコンは控えめに ・早目のアクセルオフ	大石雄生 影山 豪			
				総排水量の削減		①節水の啓蒙 ・節水シールを貼って意識の向上を図る	山内文恵 鈴木智美	
						②洗車時の節水 ・ストッパー付ホースの使用 ・必要以上に水を出さない		
	③漏水調査の実施 ・定期的にメーターを確認する							
	廃棄物の削減		一般廃棄物の削減			①ゴミの分別を徹底、再資源化推進 ・分別表示を励行する		鳥居弥生 鈴木美之
						②両面コピー、両面印刷の活用		
		③コピー用紙の裏紙使用						
		④不要紙類はリサイクルへ回す						
	産業廃棄物の削減	①無駄を無くし、廃棄物の排出を抑える	牧野裕太 鈴木美之					
②廃石膏ボードのリサイクル処理を進める								
化学物質管理	化学物質の適正管理	①化学物質の使用数量を把握する	和久田勝利					

## 7. 環境経営目標の実績

取組期間（2019/6月～2020/5月）を示す。

項目	単位	基準年度	目標値		実績値		評価	
		数値	比率	数値	比率	数値		
環境配慮型建材の使用・販売、取扱い	建材使用	枚・袋	10,076	+1%	10,177	-12%	8,846	△
	建材販売	枚・袋	4,385	+1%	4,429	9%	4,785	○
	環境負荷低減設備工事	件		—	6	—	17件	○
二酸化炭素排出量	kg-CO2	150,394	-1%	148,890	-5%	142,447	○	
	購入電力	KWh	49,497	-1%	49,000	-12%	43,441	○
	ガソリン使用量	ℓ	53,814	-1%	53,276	-5%	51,194	○
	軽油使用量	ℓ	703	-1%	696	61%	1,132	△
総排水量	m <sup>3</sup>	413	-1%	409	-6%	393	○	
一般廃棄物排出量	t	4.17	-1%	4.13	2%	4.24	△	
産業廃棄物排出量	t	307.75	-3%	298.52	21%	372.58	×	
化学物質使用量	kg	643	—	適正管理	—	1,827	○	

## 8. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

取組内容(2019/6月～2020/5月)	評価		次年度の取組内容
<環境配慮型建材取扱い>	△	工事への使用が目標未達・販売、環境負荷低減設備工事は目標を達成できた。	環境配慮型建材のPR強化(HPへの掲載等) 対象建材を見直し、工事使用の強化を図る。
①環境配慮型建材の使用推進	△	工事への使用を推進したが、目標は未達成に終わった。	対象建材の見直し・工事への使用推進を強化する。
②環境配慮型建材の販売推進	○	対象建材の見直しを行い販売推進した。	引き続き販売推進に取り組む。
③環境負荷低減設備工事の取扱い増加	○	耐火遮音間仕切り工事14件、遮熱防水工事3件の施工を実施し目標を達成した。	遮熱塗装工事、耐火遮音間仕切り工事、遮熱防水工事のPRを継続して取り組む。
<二酸化炭素排出量の削減>	○	目標を達成した。	
電力使用量の削減	○	継続して節電に努め成果を上げた。	継続
①エアコン設定温度のルール化	○	節電・設定温度のステッカーを貼り、設定温度を徹底できた。フィルターの清掃を定期的に行った。	適切な温度設定の励行 定期的なフィルター清掃の実施
②不要な照明の消灯	○	全社員徹底できた。	小まめに消灯する
③パソコン不使用時の電源OFF	○	全社員徹底できた。	継続



使用燃料の削減	○	平均燃費は前年とほぼ同水準。使用量は前年比微減した。	
①全車両エコドライブの周知、徹底	○	車両毎(担当者毎)の平均燃費を月次で集計し、エコドライブへの意識を高めた。	エコドライブへの意識を継続して高める。
<総排水量の削減>	○		
①節水の啓蒙	○	節水シールを貼って啓蒙した。	継続
②洗車時の節水	○	ホース手元にストッパーをつけて節水に努めた。	継続
③漏水調査の実施	○	毎月1回実施した。漏水はない。	引き続き毎月実施する
<廃棄物の削減>			
一般廃棄物の削減	△	不燃ごみが微増し、目標未達に終わった。	
①ゴミの分別徹底、再資源化	○	分別を徹底した。	継続
②両面コピー、両面印刷の活用	○	両面コピー、印刷を励行した。	継続
③コピー用紙の裏紙使用の励行	○	裏紙コピー及びメモ用紙として活用した。	継続
④不要紙類はリサイクルへ回す	○	使用済書類、カタログ等は古紙リサイクルへ回し、再資源化に努めた。	継続
産業廃棄物	△		
①無駄を無くし、廃棄物の排出を抑える	×	全体の工事量の増加、改修工事増加に伴う排出量の増加、また7月の本社倉庫の水災による廃棄物の排出で増加した為、目標未達に終わった。	適正量の材料発注、無駄を出さない。廃棄物はできるだけ分別し、再資源化率を上げる。
②廃石膏ボードのリサイクル処理を進める	○	廃石膏ボードの製品管理を適切に行い、リサイクル処理を促進した。	継続
<化学物質の利用削減>	○		
①適正量を適正に管理する。	○	適正に管理した。	引き続き適正な管理を行う。

## 9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

### 1. 環境関連法規等の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

〈チェック日：2020.6.23〉

法規名	対象条項	適用内容または規制基準値	備考	遵守状況
大気汚染防止法	第18条の18	作業基準の遵守	周辺の養生、薬液等による湿潤処理	適正
騒音規制法	第14条	せん断機・空気圧縮機を使用する作業	特定建設作業の実施の届出(7日前) 規制基準の遵守	適正
振動規制法	第14条	せん断機・空気圧縮機を使用する作業	特定建設作業の実施の届出(7日前) 規制基準の遵守	適正
化管法	第14条	指定化学物質等の性状及び取扱いに関する情報の提供	SDS等情報の提供	適正
消防法	第10条	指定数量以上の危険物の貯蔵及び取扱い	第4類第1石油類 指定数量200ℓ以上 第4類第2石油類 指定数量1,000ℓ以上 火災報知設備の設置 事務所500㎡以上 倉庫、工場1,000㎡以上 消防用設備の点検と報告 6ヶ月毎点検、3年毎報告	適正
資源有効利用促進法	第4条	再生資源の利用促進	3Rの促進	適正
廃棄物処理法	(令)第6条の2	処分業者との委託契約	契約の締結	適正
	第12条の5第2項	電子マニフェストの登録	引渡日より3日以内にマニフェスト情報をJWNETに登録	適正
	第12条の5第2項	終了報告の確認	登録日より90日以内の中間処理又は180日以内の最終処分の確認	適正
家電リサイクル法	第6条	指定家電の適正処分	テレビ・冷蔵庫・エアコン・洗濯機の適正処分	適正
建設リサイクル法	第18条	解体工事—80㎡以上 新築・増築工事—500㎡以上 修繕・模様替等工事— 請負金額1億円以上	発注者の知事への届出資料の準備と報告	該当なし
自動車リサイクル法	第8条	自動車のリサイクル	引取業者への引渡し	適正
温対法	第20条の5	温室効果ガス抑制措置	自治体施策への協力	適正
省エネ法	第143条	エネルギー使用の合理化	事業者の努力義務	適正
フロン排出抑制法	第16条第1項	フロン類の漏えいの防止	全ての業務用冷凍空調機器の四半期に一回の点検	適正
オゾン層保護法	第19条	特定物質等の排出の抑制及び使用の合理化	家電リサイクル法、自動車リサイクル法、フロン排出抑制法等に準ずる	適正

## 2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの苦情、訴訟等もありませんでした。

## 10. 代表者による評価と見直し

見直し 関連情報	項目		確認：(必要に応じて評価・コメント記載)
	1	エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/> 文書として記録
	2	環境経営目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 環境配慮型建材の工事使用、一般廃棄物排出量、産業廃棄物排出量を除き達成
	3	環境経営計画及び取組実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続して取組み
	4	環境関連法規要求一覧及び順守状況	<input checked="" type="checkbox"/> 問題なし
	5	外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/> 外部からの苦情なし
	6	問題点の是正・予防処置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 問題なし
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	<input checked="" type="checkbox"/> 特になし
	8	その他	<input checked="" type="checkbox"/> 特になし

全体評価・見直し指示	<p>活動開始以来、重点的に取り組んでいる二酸化炭素排出量、電力使用量、燃料使用量、水使用量等、主要な項目においては、目標を達成することができ、継続した成果が上がっています。</p> <p>産業廃棄物排出量は、全体の工事量が増加したこと、改修工事が多かったこと等により目標を達成することはできませんでした。工事量の増減や工事種類により変動するため、単純に成果を判断することはできませんが、引き続き材料の適正発注を徹底し、無駄な廃棄物を出さないように努めて参ります。</p> <p>今後も引き続き日々継続した改善を目指し、環境活動を経営に活かすよう取り組んで参ります。</p> <p>2020年7月20日</p> <p style="text-align: right;">協同建材株式会社 代表取締役 山下晴久</p>			
	見直し項目		変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1	環境経営方針	有・ <input type="radio"/> 無	
	2	環境経営目標	<input type="radio"/> 有・無	工事使用の環境配慮型建材の見直しを行い、取組みを強化すること。
	3	環境経営計画	<input type="radio"/> 有・無	エコ委員のメンバー変更があったため、各項目の推進担当者的見直しを行うこと。
	4	環境に関する組織	有・ <input type="radio"/> 無	
	5	その他のシステム要素	有・ <input type="radio"/> 無	
	6	その他(外部への対応)	有・ <input type="radio"/> 無	

## 地域貢献活動の実施状況

実施項目	会社近隣道路の清掃活動
実施日	2019年10月10日、2020年4月9日
参加者	全社員



## 環境活動取り組み事例



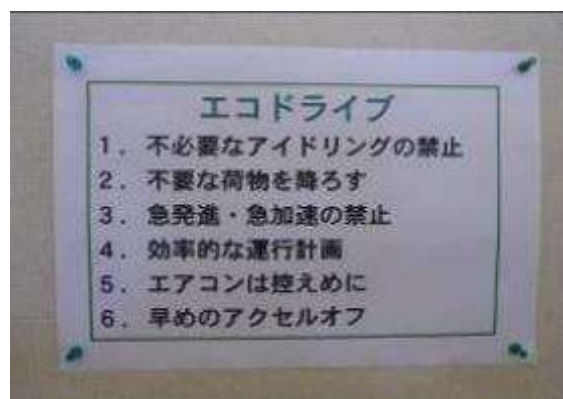
消灯/節電



エアコンの設定温度/節電



節水



エコドライブ①



エコドライブ②



廃棄物の分別①



廃棄物の分別②



廃棄物の分別③

浜松市事業所のエコドライブ認定推進事業

## 認 定 証

協同建材株式会社 殿

貴事業所は浜松市地球温暖化防止活動推進センターが実施した平成27年度事業所のエコドライブ認定推進事業において積極的に取組んだためエコドライブ事業所として認定します

平成28年3月17日

浜松市地球温暖化防止活動推進センター

(特定非営利活動法人静岡県新エネルギー推進機構)

センター長 平井一之

